

令和元年(2019年)9月3日(火曜日)

JR三島駅南口ホテル工事

「地下水影響見られず」

検討委

JR三島駅南口の周
辺開発が及ぼす地下
水への影響を審議す
る「地下水対策検討委員
会」は2日、第5回会
合を市民文化会館で開
いた。市当局は、ホテ
ルの建設工事が進む西
街区で掘削工事中に調
査した地下水の水位、
水質が例年通りの季節
変動を示し、建設地の
上流と下流で変化が見
られないことから「工
事による地下水への影
響は確認できない」と
報告した。

調査は駅周辺の11地
点で継続して行われ、
井戸の水位や水温、p
Hなどの水質を定期
的に調べている。ホ
テルの掘削工事が行
われた2018年4
月12月の調査は、西街
区の上下流で水位、水
質ともほぼ同じ数値
を示した。仮に工事の
影響があれば下流だ
け水位が下がるなど特
異的な変化が考えられ
るため、同委員会の委
員で筑波大生命環境系
の辻村真貴教授は「影
響を示すデータは得ら
れなかった」と評価し
た。

掘削工事が終了した
19年4月に水位が下
がった要因について、
市は上流部の御殿場
市で昨年11月以降の降
水量が前年比4割減と
なった点を挙げた。地
上90層ほどの高層棟
などが建設される東街
区の計画にも触れ、「地
下水・湧水に影響を与
えない」とする事業者
の基本方針を説明し
た。

同駅前再開発事業に
ついては、一部の市民
から地下水の減少など
を懸念する声が上がっ
ている。
(三島支局・金野真仁)